

# ヨシナカ新聞

## 大阪工場 熱処理設備

6月号  
発行所  
株式会社ヨシナカ  
東京営業所  
TEL:03-3555-0796  
FAX:03-3553-8444

### オーステナイト系ステンレスの焼き鈍(なまし)加工設備

小学生の頃、学校のお昼休みは校庭で遊ぶ時間を稼ぐ為に給食の時間を短縮するにかかっていました。

でも食事を早く済ませようとしても限度があり、特にコップパンは小学生にとつては大き過ぎて食べるのに時間を要しました。

そんな時、出来るならこのパンをギョギョッと握り潰して小さく出来れば少しの時間でパンを食べ切れる事が出来るのにも思いつたもので、でもよく考えてみるとそんなに小さくしたパンはとても硬くて噛もうとしても多分無理でしょう。前置きが長くなりましたが、大阪工場



ではステンレスの丸線の材料を上下左右からローバシしたり(圧延)、金型を通して引き伸ばす(伸

したパンと同じようになっていきます。特にオーステナイト系ステンレスは加工硬化が他の系統のステンレスより大きい為に加工にも限界があります。

大阪工場の熱処理設備はこのような加工によって硬くなった材料を、加工前と同じような柔らかい状態に戻す役目を担っています。要するに小さくしたパンを小さくする前の柔らかい状態にして容易に噛めるようにするのが目的です。

線加工を行なっています。そういう加工を施すと材料の断面積は小さくなつていきます。ということは握り潰して小さく

このようにして柔らかくした材料はまた新たに次の加工を施す事が出来ます。圧延(又は伸線)加工、熱処理加工の工程を繰り返す事によって複雑な形状を作る事が出来るわけです。

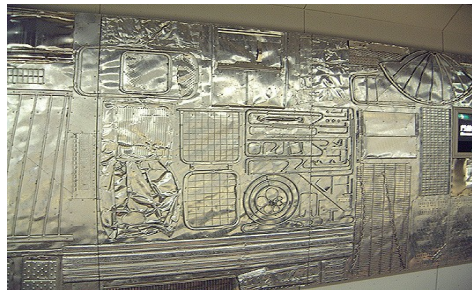
### ステンレス豆知識

「この前貴社から買った製品が磁石に付くじゃないですか。これはステンレスじゃないのですよ。」  
こんなクレームをお客様から頂く事がまれにあります。

確かにステンレスは「磁石に付かない」というイメージがありますが、オーステナイト系ステンレスは右記

ステンレスの磁性事のように熱処理(焼き鈍し)加工を施した後は非磁

性ですが、圧延、伸線加工、切削等の加工を施すと磁性を帯びます。鉄と比較すると僅かな磁性ですが、加工率が高くなるほど磁性は強くなります。なお、ニッケルを含まないフェライト系やマルテンサイト系ステンレスは鉄と同じように強い磁性を持っています。



駅ホームのアート

清澄大橋(東京都営地下鉄大江戸線)のホームの両サイド壁一面に写真のようなアートデザインを見る事が出来ます。これは「20世紀文明の化石」と題された作品で、素材は、20世紀の高度経済成長期に東京の産業地区である江東区で多く生産されてきた各種の工業製品のスクラップを再利用(リサイクル)したもので、表現している内容は宇宙誕生、太陽系の形成、日本列島の首都東京の進展、未来の展望などをイメージして描かれています。

4番線左側から、ビックバン系、宇宙、銀河系、太陽系、日本列島誕生、さらには東京、江東区、地下鉄などを表現し、都市の再生などを描いています。

また、1番線左側から、東京の街、公共交通、自動車、工業、金融、コンピュータ、愛と続き未来の展望などを表現しているのだそうです。

### 熱中症対策に効果 『水分さえ摂れば』

この新聞では不定期ですが、健康面についても記載していきたいと考えています。数年前の八月のうだるような暑い日の出来事。その当時から入っていた私は練習開始十分くらいで体に異変を感じました。

木陰のベンチで座って待つて来た冷たいお茶を飲んで荒いまま、頭は止まらず息は荒いまま倒れるかと思いついた時にコーチが冷たい

うです。興味を持たれたら一度足を運んで見られたら如何でしょうか。

ながら、写真はホームペーの説明文を引用させて頂きました。

### ステンレスの国内生産量

一年間にどれくらいの量のステンレスが日本国内で生産されているのでしょうか。昨年1月~12月の1年間のステンレス国内生産量は343万トンになります。ちなみに、昭和50年度(50年4月~51年3月)は137万トン、昭和60年度は216万トンと年々増加しています。錆びに強く、加工性も改善されて来ていることからステンレスはこれ

からも多く使われていくことでしょう。

なお、最も多く生産されているのは鋼帯の244万トン(昨年1月~12月)。ちなみに弊社が主に使用しているステンレス線材の生産量は同期間で27.3万トンで、総生産量の10分の1弱です。

\*参考データ：日本金属新聞

スイカを食べさせてくれました。その効果は観面ですぐに元気がなつてその後3時間もテニスをしてしまいました。

帰宅してインターネットで調べてみるとスイカに含まれている果糖やブドウ糖はエネルギーの転換が速やかで、夏に炎暑がひどい時に水分を多く含む喉の渇きを潤し、豊富に含まれるビタミンCにより、身体に相乗効果を生み出します。熱中症対策に大いに役立つそうです。

この体験以来、夏のテニスはお茶からスイカを乗り替えました。

熱中症は間違えば死に至る怖いもの。暑い夏がやってくる前に是非お知らせしたくて書かせて頂きました。